

報道関係者 各位

2026 年 9 月 1 日
全国保険医団体連合会

厚労省要請

**痛みに耐えて働く患者も追加負担増に
追加負担の中止を求める厚労省要請、署名提出**

厚労省の OTC 類似薬に関する中間とりまとめでは、関節リウマチ、変形性関節症、アトピー性皮膚炎、アレルギー疾患など患者が服用する薬剤が配慮対象外となり、27 年 3 月から追加料金が徴収されます。

腰やひざの痛みを抱え鎮痛消炎剤を使いながら働く建築職人、介護労働者など現場労働者に大きな負担を強いることとなります。介護や建築・交通など公共インフラを支える労働者への“仕打ち”とも言える制度導入は中止すべきです。

保団連は患者さんたちと一緒に 9 月 17 日に厚労省に OTC 類似薬の追加負担に反対するオンライン署名（10 万 7 千筆）を厚労省に提出し、負担増中止の要請を行います。

記

開催日時：2026 年 9 月 17 日（木） 14 時 30 分～

会場：参議院議員会館 101 会議室

参加予定：医師 中村洋一 保団連理事

関節リウマチ患者 渡辺義久さん

難病患者の家族 大藤朋子さん

介護現場で働く腰痛患者

運輸関係労働者 笹原さん

アトピー性皮膚炎の患者さん

【問い合わせ先】

全国保険医団体連合会 本並省吾

TEL：03-3375-5121